苫小牧市

所属議員

産業目線

庄未 日秘	
【活動選定項目】	①カーボンニュートラル(CN)への対応
具体的取り組み項目	カーボンリサイクルに係る技術調査事業の実証試験への移行 ・キーテクノロジーのメタネーション党の実証試験誘致 ZEH [ネットゼロエネルギーハウス] の推進
前回まで 活動状況	・苫小牧市での NEDO 事業について調査:3つの事業展開中 ・市内戸建ての新築・モデルハウス等調査:暖房・給湯の熱源は灯油又は天然ガスが主流
今回 具体的活動	(1) 苫小牧を取り巻く状況 バイオマス発電:日本製紙(株)北海道工場勇払事業所内に「勇払エネルギーセンター合同会社」設立し建設中(2023年IJ運転開始予定。燃料:輸入木質チップ、パームヤシ般、国内未利用材。発電出力:74,950kW :エクイスバイオエネルギー・ジャパン(株)が「苫東バイオマス発電合同会社」設立し2024年操業開始予定。燃料:輸入木質ペレット。発電出力:50,000kW。苫小牧市企業立地審議会へ諮問、R3.10.19適当と答申。 NEDO事業:C02大量排出源からの分離回収集積利用に関する技術調査:バイプラインで輸送している・連業間連携を活用したカーボンリサイクル拠点実現可能性調査:JAPEX(石油資源開発(株)がC02の地中圧入を検討している・勇払油ガス田でC02-E0R(二酸化炭素石油増進回収法)を検討している。「鉱業法」「鉱山保安法」手続き必要(2) ゼロエネルギーハウスについて太陽光発電を活用するためにBEVとの組合せが有効ではないか:EVは災害時の非常用電源として活用できる。ZEHやEVのみに限らず、国の施策やインセンティブを注視し市民に多くの情報を提供していきたい。(3) ライフサイクルアセスメントについてC02排出係数:北海道の電力のC02排出係数は全国で最も高い:発電部門における脱炭素の取組も進められている。国のエネルギー政策を注視し脱炭素の実現に向け支援を検討したい。 【政策予算要望】「令和4年度 予算編成及び市政執行に関する政策要望・提言」会派「改革フォーラム」提出。その中で「カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた施策に実施」を求めました。脱炭素の活発な動きを捉え本年10月に「苫小牧 CCUS・カーボンリサイクル促進協議会」と「苫小牧 大家エネルギー推進協議会」を統合し「苫小牧 CCUS・カーボンリサイクル促進協議会」と「苫小牧 木素エネルギー推進協議会」を統合し「苫小牧 CCUS・カーボン井地協議会」に改組されました。CCS実証試験を行った苫小牧市ではにわかにNEDO事業の調査事業が数多く行われていることを踏まえ、次のステップに向けてカーボンニュートラル産業先進地となる為に「SAF(持続可能な航空燃料)」「メタネーション」などの実証事業の誘致に向けた取組みを求めます。-2便望書原文)

【図や活動の様子が分かる写真など】

[9月議会一般質問にて取り上げ]



【会派改革フォーラム要望・提言を提出】



イベント等 ・「苫小牧 CCUS・カーボンリサイクル促進協議会」と「苫小牧水素エネルギープロジェクト会議」を統合し「**苫小牧 CCUS・ゼロカーボン推進協議会**」へ改組 ・講演会の開催 第2回苫小牧都市再生講演会 苫小牧の可能性を拓く 「ゼロカーボンシティ宣言都市苫小牧の実現可能性」



今後の活動